味・美・楽Shop

Waris Cafe（ワリス・カフェ）

ずっと常連だったような和み感と優しい味で日常を忘れ、ほっこり。

真っ白な外観とキュートなパステルカラーのロゴがお出迎え。

一つ一つの机が大きく、日当たりの良い店内は開放的でくつろ�ぎ感抜群。ママ友同士が子どもを遊ばせても安心して楽しめる空間。

日替わりプレートデラックス（1250円）。手前左から時計回りにメインのデミグラスハンバーグ、温野菜、デザート3種盛り合わせ（ロールケーキ・ストロベリーアイス・コーヒーゼリー）、サラダ、パン、前菜盛り合わせ（揚げ春巻き・ブロッコリーの和え物・小芋の煮物、パストラミビーフ）、ボリュームたっぷり！

スタッフの明るさと気遣いに癒され毎日のように通う常連の方も多く、地域密着の“愛されカフェ”として知られている「ワリス・カフェ」。メニューを見てみると、ハンバーグ、パスタなどの他に和食も豊富。しかも、どれも心が和むような優しい味付けに仕上がっています。これにはスタッフのチームワークに“秘密”がありました。

実はこのワリス・カフェ、元同僚だった仲間3人が「4年間それぞれ勉強して、その後一緒に店を出す」ことを目標に、イタリアン、鉄板焼き、和食……と別のジャンル、別の土地に散らばり修行に出たのだとか。しかも気が変わったら抜けてもいい、という緩やかな約束だったにも関わらず、2009年、3人が約束通り集まって、無事オープン。現在に至るそうです。この自然体でありながらも、人とのつながりを大切にする意識が、店内の心地よい空気と統一感を作っているのでしょう。

お昼は奥様方が広々とした店内でひと時家事を忘れてくつろぐ姿も多いのだとか。スタッフの方々は、おいしい料理の提供はもちろんですが、お客様への「ホスピタリティ」を大事にしているといいます。

「とにかく、“聞けるわがままは全部聞く”という姿勢でいます。うちはコンセプトを『オシャレふだん着』としているのですが、ここにいる時は、家事や仕事など日常の事を忘れて、ちょっとよそ行きの服に着替えて気分を変える感覚で、楽しく過ごして頂きたいです。奥様方ももちろんですが、夜は男性のお客様も多いです。カウンター席では、スタッフも一緒にお喋りに加わり、盛り上がりますよ」

一人での入店は緊張するものですが、ワリス・カフェなら、スタッフたちの笑顔、そして親しみ溢れるトークに「昔から知っているような」安心感を持てること間違いなしです。気軽に立ち寄る事ができる、あなたの大切な癒しの場所が一つ増えそうです。

パスタランチスタンダードセット（950円）。トマトの酸味とまろやかさが絶品。

スイートポテトwithバニラアイス（550円）。ポテトの甘さ控えめの口当たりがバニラアイスと相性抜群！

小さな器にちょこんと盛られた前菜盛り合わせ（日替わりプレートと同じ）も優しいお味。

「砂漠でも枯れない美しい一輪の花」を意味する店名の「Waris」。

お店データ

- ●最寄駅：南海高野線金剛駅　南海バス 中央センター前下車2分
- ●住所：大阪府富田林市向陽台2-1-11
- ●Tel：0721-28-5355
- ●営業時間：11:00～23:00（ランチ:11:00～14:30）
- ●定休日：第1・3・5月曜
- ●駐車場：3台
- ★リビングフレッシュを持参いただくと、ランチのスタンダードメニューを頼まれた方でも、デザートのアイスをプラスいただきます。（3月30日まで）

1/2 Day Trip 河内長野発

作り方は本物とほぼ同じ

平野でパフェやケーキのサンプルづくり

一人　女性グループ　ファミリー

本物と見間違うリアルな食品サンプル。眺めているだけでも幸せな気分になりますね。大阪市平野区にある「森野サンプル」は、日本を代表する食品サンプルメーカー。もともと子どもたちを対象に社会見学を行っていましたが、自分も作ってみたいという声にお応えして、土日祝を中心に工房でパフェやケーキのサンプル製作体験会を行っています。

所要時間は1時間半～2時間。森野文男社長からサンプル作りの工程などを聞いた後、お待ちかねの体験。シリコンのコーキング材のクリームをパフェの器や、ケーキ台に絞り出し職人さんたちが作った好みの果物や、チョコやフルーツソースをトッピング。作り方は本当のケーキやパフェと同じです。鍋でソースを溶かすなどありますが、火を使うところはスタッフが行うので安全。幼稚園年長さんぐらいから楽しめます。工房内にはキーホルダーやマグネット、耳かき、スマホのカバーに加工されたおいしそうな食品サンプルのグッズが展示されていて、購入もOK。

体験は要予約で1人から。基本は土日祝ですが平日は2人以上なら要相談。料金は3000円。

時間があれば、JR平野駅の反対側（南側）に広がる平野郷の昔ながらの街並みを散策するのもおススメです。

作る人によってさまざまな仕上がりに。

森野社長によるサンプル食品ミニ講座も。

子どもたちも真剣そのもの。

完成！おいしそうな出来栄えに心も満腹。

●森野サンプル　大阪府大阪市平野区加美北6-1-19　Tel：06-6792-7543　http://www.morino-sample.jp/
※南海（高野線）河内長野⇒新今宮⇒JR関西本線（大和路線）平野下車 北出口より徒歩約10分

三日市町・0さんからの質問

「河内長野の桃でつくったソース」ってあるのですか？イベント会場で食べた焼きそばの味が忘れられません。

みなみかわち・なんでも調査隊 ～あなたのナゾにお答えします！～

小山田の桃から生まれた「ももそばソース」一度食べたらやみつきに！

「奥河内小山田ももそばソース」ですね。河内長野市商工会が地域資源を活用した商品開発「かわち手みやげ逸品開発事業」の一つとして開発したもので、平成23年9月から発売が開始されています。企画・発売元の河内長野市商工会で詳しく話を聞いてみました。

「羽曳野市にあるソースメーカーの老舗、ツヅミ食品さんに開発協力をお願いして誕生した焼そば専用ウスターソースです。材料には小山田にある中谷農園さんで採れた清水白桃を使っています。希少な品種のため、年間の製造本数が限られていますが、あえて最高品種にこだわりました。桃本来のもつ粘り気が、麺へのソースの吸いこみを抑えるので麺の弾力が保たれた状態でソースがからみ美味しさを引き出すんです。食べていただくとやみつきになりますよ」（企画・開発を担当した瓦谷隆司さん）。じわじわとファンが広がっているそうで、三日市町にある「地球屋」を総合卸売として、市内の酒店やコンビニなど現在19店舗で販売中です。

販促キャラクター「ももそばちゃん」と一緒にPRする河内長野市商工会の瓦谷さん。商工会でも販売しています。

500ml2入り525円
1.8l入り1,575円
（税込）

質問を募集しています！「ここになぜこんなものが？」「この由来は？」など、街の中でふと感じたクエスチョンをお寄せください。あなたに代わってお調べします。応募先は欄外の宛先へハガキまたはFAXにて受付いたします。

●問合せ先：河内長野市商工会　Tel：0721-53-9900　http://www.ksci.or.jp/

20年ぶりのフルモデルチェンジ！新型ガス炊飯器 直火匠（じかびのたくみ）

シンプルで見やすく、使いやすい操作パネル

炊飯時間約18分 蒸らし時間と合わせて約28分
「白米急ぎモード」で炊飯した場合の炊飯時間（炊飯量1合）

蓄熱厚釜
釜の素材には、優れた熱伝導性と軽さを併せもつ、厚釜のアルミキャストを採用しました。強い力の火力が釜全体にムラなく伝わるため、ふっくらおいしいごはんを炊き上げることができます。

保温機能・タイマー機能付き
5合炊き炊飯器
111-R530（シルバー）,111-R531（ブラック）
標準価格 79,800円（税込）
当社販売価格 51,800円（税込）

ごはん本来のおいしさを引き出す
本焚白米モード
かまどの伝熱形態を再現した「本焚白米モード」。直火による強火力で強い熱対流を発生させます。甘み、香り、粘りが際立ったおいしいごはんに炊き上げることができます。

第13回 ボランティア・市民活動フェスティバル

テーマ よりよい明日へつながろう市民の輪

開催日時 2月24日（日）10:00～16:00
会場 市民交流センター（キックス）
入場無料

●ボランティア絵画コンクール作品展　●実演コーナー　●展示コーナー
●フリーマーケット　●ステージ　●参加型ゾーン　●スタンプラリー　●軽食

主催：河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ）　TEL：0721-53-8100
後援：河内長野市教育委員会　［指定管理者］特定非営利活動法人かわちながの市民公益活動推進委員会

特集 いきいきと素敵に暮らす人たちを紹介します 26 ラブリーホール開館20周年記念事業で個展を開く陶芸家・松川和弘さん

Fresh people フレッシュピープル

流れるような曲線の中に緊張感が漂うシャープなフォルム。その肌を覆う繊細で深味のある青白釉と、窯変によって生まれる緋色の文様の妙味…独特の青白磁（せいはくじ）の作品でやきものファンを魅了する松川和弘さん。気鋭の若手作家として注目を集める河内長野出身の陶芸家です。喜多町にある松川さんの工房を訪ねました。

器という『静』のカタチに、生きている『動』を封じ込めて

プロフィール

松川 和弘（まつかわ・かずひろ）さん

1977年河内長野市生まれ。2000年奈良芸術短期大学専攻科修了、2001年京都府立陶工高等技術専門校修了。近藤高弘氏に師事。2006年独立・開窯。2007年日本伝統工芸近畿展・大阪府教育委員会賞受賞、2008年日本伝統工芸展・日本工芸会総裁賞受賞。全国のギャラリー、百貨店等で個展を開催。河内長野市内に奥様と2人暮らし。

烏帽子形八幡神社の近く、美しい里山の原風景と澄んだ空気の中に松川さんの工房はあります。

小さい頃は工作大好き少年。陶芸に開眼したのは、美術科高校で選択科目として受けた陶芸の授業でした。

「土の塊をこねたり伸ばしたりして自在に形にするおもしろさ。そして窯の中で変化する土や釉薬の色…夢中になりました」。

奈良芸術短期大学では先生や先輩の作品に触発され、感性の赴くままオブジェや陶器をつくる中でプロになることを決意しました。卒業後、陶芸の道を志す若者が全国から集まる京都の陶工専門校で1年間、ロクロ成形の技術を磨き、さらに京都の陶芸家に弟子入り。

「陶芸家の生活は掃除に始まり掃除に終わります。作陶だけでなく、人に会うことや展示会の飾り付け、箱書きや案内状制作なども大切な仕事だと。師匠からは陶芸で生きるとはどういうことかを教わりました」。

形成して一旦乾燥させた器を再びロクロを回しながらカンナで削ります。まるでカンナ自体が指先のよう。

現していきたいです。器という静のカタチに、生きている動の感覚を封じ込めたいんです」。

2008年には青白磁菱角鉢「緋」が日本工芸会総裁賞に輝き、松川さんの作家としての地位を不動のものにしました。

制作の合間に敷地内にある畑を耕すのも日課です。「農からもらうインスピレーションは大きいですね。土の中から生み出すという意味では陶芸と共通するものがあります。農作物であるご飯を盛る飯碗も私の大好きな作品の一つです」。

3月9日～17日には「松川和弘展～青白磁の世界」が、ラブリーホール開館20周年記念事業として開催されます。

「街の画廊でも美術館でもない、ラブリーホールという公共空間の中で開かれる展覧会は私にとっても初めての試み。作品を観ていただくだけでなく、陶器と磁器の違いや釉薬はどういうものかなどもお伝えできたら。ここでしかできない展覧会にしたいですね」

静かな語り口に陶芸への情熱をたぎらせる松川さん。展覧会では、そんな溢れる思いが命を得たカタチとなって並びます。

「青白磁三角鉢」　一辺が50cmほどある大きな器。釉薬を抜いて焼くことで生まれる磁肌の緋色の模様が、青白磁を引き立て生命感あふれる作品に。

農からインスピレーション

繊細で深みのある青白磁に、窯で焼くことで生まれる磁肌の緋色が映える松川さんの作品。松川さんがつくるやきものは、陶器ではなく磁器です。「窯の中で変化する色や形の味わいはやきものの魅力ですが、磁器のほうが意図したイメージに近づけるので好きなんです。表現方法が私の性格に合っているんですね」。

躍動感あふれる緋色の模様は、釉掛けの際に釉薬を自然な形で抜くことで生まれます。

「冷たくなりがちな磁器に緋色の模様を付けることで、動きを表

「青白磁香器」　香器も松川さんの好きな作品の一つ。

ラブリーホール開館20周年記念事業
ふるさとの作家展
松川和弘展 ～青白磁の世界～

- ●日時　3月9日（土）～3月17日（日）10:00～17:00
- ●会場　ラブリーホール地下1階ギャラリー【入場無料】
- ●主催　公益財団法人 河内長野市文化振興財団

「青白磁三角鉢」（左上写真）をはじめ、最新作のさまざまな鉢、香器、花器、飯碗、陶筥などを一堂に展示。器という『静』のカタチに、生きている『動』を封じ込めた松川さんの世界に酔いしれてください。

ホンモノはどれ？

正解の方から抽選で図書カード（2000円）を5名の方にプレゼントします。

応募方法

ホンモノの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、本誌の感想・要望などを明記の上、欄外の宛先「ホンモノはどれ？」係へハガキ、またはファックスでご応募ください。
※2月末日締切 消印有効。
※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
〈No.250の正解は②でした〉

社員からのお勧め情報

お勧めの一冊『楽園のカンヴァス』

（著：原田マハ。新潮社）

河内長野ガス 山本

この企画第二弾。意外（？）にも前回の執筆が好評で少し肩に力が入っています。

河内長野駅前の書店に平積みされていたこの本を偶然手に取り、パラパラとページをめくりました。いつもならそれで終わるのですが、この本は違いました。舞台は大原美術館、ニューヨーク近代美術館、スイスのバーゼル、そしてテーマはあの風変わりな絵を描くアンリ・ルソーの絵画にまつわるミステリーと来て思わず購入しました。昨年読んだ本の中で最高にお勧めの本です。

あらすじはアンリ・ルソー展が日本で開かれることになり、ニューヨーク近代美術館のチーフ・キュレーター（展覧会の企画を担う仕事）ティム・ラスウンが日本側の交渉窓口に何故か大原美術館の一介の監視員である早川織江を指名してきたことから話は始まります。そして場面は17年前に遡り、そこでは若きティムと織江がスイスの大富豪邸宅にあるルソーの「夢」とそっくりの「夢を見た」という絵の真贋を1週間で見極める鑑定を依頼され、対立しながらも、少しずつひかれ合っていく様が描かれていきます。そして最終章で二人がニューヨーク近代美術館の「夢」の前で再会する場面では（恥ずかしながら）泣けてきました。上質の映画のクライマックスシーンを見ているような爽やかな読後感を与えてくれるので、最終章だけは、何度も何度も読み返してしまいます。

ルソーの名は記憶にない方も絵を見られると思いだされるかもしれません。画集「西洋絵画の巨匠31ルソー」（小学館。定価580円）の絵を眺めながら、この本を読むとより作品の理解が深まるように思いますので、もう一つのお勧めです。

［プレゼント・読者企画のご応募先］　●ハガキ　〒586-0025 大阪府河内長野市昭栄町14-32 株式会社リビングセンター長野　●ファックス 0721-53-8775 ※FAX番号はお間違いのないようにお願い致します。